

第179回簿記能力検定試験

上級 商業簿記 解答速報

問題1

(単位：円)

	借 方		貸 方	
	勘定科目	金 額	勘定科目	金 額
問1	諸 資 産	40,000,000	諸 負 債	28,000,000
	の れ ん	4,800,000	資 本 金	5,200,000
			資 本 準 備 金	7,800,000
			自 己 株 式	3,800,000
問2	X 社 株 式	24,000,000	資 本 金	17,490,000
	Y 社 株 式	10,980,000	資 本 準 備 金	10,494,000
			その他資本剰余金	6,996,000

予想配点：各5点

問題2

損 益

(単位：千円)

仕 入	[46,370]	売 上	64,000
営 業 費	12,602	受 取 配 当 金	30
貸 倒 引 当 金 繰 入	[104]	受 取 利 息	[108]
減 価 償 却 費	[1,325]	有 価 証 券 利 息	[115]
支 払 利 息	[240]	為 替 差 損 益	[399]
退 職 給 付 費 用	[870]	(先 物 利 益 ※)	[60]
社 債 利 息	[20]	()	[]
(株 式 報 酬 費 用)	[181]	()	[]
(法 人 税 等)	[1,050]	()	[]
(繰 越 利 益 剰 余 金)	[1,950]	()	[]
()	[]		
()	[]		
	[64,712]		[64,712]

※「先物損益」でも可

閉鎖残高

(単位：千円)

現金	[6,351]	支払手形	3,100
当座預金	[24,100]	買掛金	2,600
受取手形	4,200	受取手形貸倒引当金	[84]
売掛金	3,500	売掛金貸倒引当金	[70]
外貨建売掛金	[968]	退職給付引当金	[2,970]
繰越商品	[3,030]	社債	[2,000]
備品	2,800	リース債務	[2,148]
車両	4,000	備品減価償却累計額	[1,225]
満期保有目的債券	[2,328]	車両減価償却累計額	[1,600]
その他有価証券	[1,090]	資本金	30,000
長期貸付金	[1,800]	資本準備金	4,100
先物取引差入証拠金	900	利益準備金	1,400
社債発行差金	[80]	繰越利益剰余金	2,950
(先物取引差金)	[60]	新株予約権	[422]
(繰延税金資産)	[21]	前受収益	[18]
(その他有価証券評価差額金)	[26]	(繰延税金負債)	[7]
(未収収益)	[90]	(未払法人税等)	[650]
()	[]	()	[]
		()	[]
		()	[]
	[55,344]		[55,344]

予想配点：各3点
合計 100点

問題1

番号	正誤	理 由
1.	×	正規の簿記の原則に従って処理された場合に生じた簿外資産及び簿外負債は、貸借対照表の記載外におくことができる。
2.	○	
3.	○	
4.	○	
5.	×	繰延資産に該当する社債発行費等には、新株予約権の発行に係る費用も含まれる。
6.	×	所有権移転ファイナンス・リース取引についてはリース債権として、所有権移転外ファイナンス・リース取引についてはリース投資資産として計上しなければならない。
7.	○	
8.	×	役員に対する賞与も発生した会計期間の費用として処理する。
9.	○	
10.	×	子会社株式の一部売却による親会社の持分の減少額(売却持分)と売却価額との間に生じた差額は、資本剰余金とする。

予想配点：各4点×10＝40点

問題2

(金額の単位は千円とする)

問1	(a)	約定日 基準		(b)	修正受渡日 基準		各5点
問2		借 方		貸 方			
		勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額		
	(1)	その他有価証券	10,000	未払金	10,000	4点	
	(2)	仕訳なし				4点	
問3		借 方		貸 方			
		勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額		
	(1)	未払金	10,000	当座預金	10,000	4点	
	(2)	その他有価証券	10,000	当座預金	10,000	4点	
問4	(C)					4点	

(注) 仕訳が不要な場合には、借方の勘定科目欄に「仕訳なし」と記入すること。

予想配点：30点

問題3

(金額の単位は円とする)

ア	4,410,000	イ	44,100	ウ	4,145,400
エ	手形売却損	オ	44,100	カ	貸倒引当金戻入益
キ	200,000	ク	受取利息	ケ	210,000
コ	保証債務取崩益				

予想配点：3点×10＝30点

合計 100点

第179回簿記能力検定試験

上級工業簿記 解答速報

問1

製造間接費予算部門別配賦表

(単位：円)

	切削部門			組立部門		
	変動費	固定費	計	変動費	固定費	計
第1次集計額	762,200	1,612,875	2,375,075	285,000	429,625	714,625
第2次集計額	[1,211,751]	[4,365,955]	[5,577,706]	[991,049]	[3,091,545]	[4,082,594]
部門費合計	[1,973,951]	[5,978,830]	[7,952,781]	[1,276,049]	[3,521,170]	[4,797,219]

予想配点：各4点×4=16点

問2 (1)

$$a = 3,520,000 + [0.2] b$$

$$b = 3,937,500 + [0.1] a$$

完答で4点

(2) $a = [4,395,408]$, $b = [4,377,041]$

完答で4点

(3)

切削部門		組立部門	
動力部門費	水道部門費	動力部門費	水道部門費
[2,417,474]円	[1,969,668]円	[1,538,393]円	[1,531,964]円

予想配点：各4点×2=8点

問3

製造間接費予算部門別配賦表

(単位：円)

	切削部門			組立部門		
	変動費	固定費	計	変動費	固定費	計
第1次集計額	762,200	1,612,875	2,375,075	285,000	429,625	714,625
第2次集計額	[1,237,800]	[4,387,125]	[5,624,925]	[965,000]	[3,070,375]	[4,035,375]
部門費合計	[2,000,000]	[6,000,000]	[8,000,000]	[1,250,000]	[3,500,000]	[4,750,000]

予想配点：各4点×4=16点

問4

切削部門			組立部門		
変動費率	固定費率	予定配賦率	変動費率	固定費率	予定配賦率
[200]円/h	[600]円/h	[800]円/h	[250]円/h	[700]円/h	[950]円/h

予想配点：各4点×4=16点

問5

複数基準配賦法とは、補助部門費を変動費と固定費に区分し、それぞれ異なる配賦基準によって

関係部門に配賦する方法である。具体的には、変動費は補助部門用役の消費量を配賦基準とし、

固定費は補助部門用役の消費能力を配賦基準とする。

予想配点：4点

問 6

製造指図書番号	#1	#2	#3	#1-R	#2-2
直接材料費	[1,500,000]	[336,000]	[1,452,000]	[1,320,000]	[1,620,000]
直接労務費	[1,190,000]	[255,000]	[892,500]	[552,500]	[680,000]
製造間接費					
切削部門費	[2,120,000]	[384,000]	[1,744,000]	[1,344,000]	[1,960,000]
組立部門費	[1,330,000]	[285,000]	[997,500]	[617,500]	[760,000]
仕損売却収入	—	[Δ192,000]	—	—	—
作業屑売却収入	—	—	[Δ16,800]	—	—
仕損費振替	[3,834,000]	[Δ1,068,000]	—	[Δ3,834,000]	[1,068,000]
合 計	[9,974,000]	[0]	[5,069,200]	[0]	[6,088,000]

(マイナスには△をつけること。)

予想配点：各4点×5＝20点

問 7

切削部門費

諸 口	[7,985,200]	仕 掛 品	[7,552,000]
原 価 差 異	[]	原 価 差 異	[433,200]

予算差異 (切削部門)

操業度差異 (切削部門)

原価差異	[97,200]	原価差異	[]	原価差異	[336,000]	原価差異	[]
------	------------	------	-----	------	-------------	------	-----

組立部門費

諸 口	[4,528,000]	仕 掛 品	[3,990,000]
原 価 差 異	[]	原 価 差 異	[538,000]

予算差異 (組立部門)

操業度差異 (組立部門)

原価差異	[]	原価差異	[22,000]	原価差異	[560,000]	原価差異	[]
------	-----	------	------------	------	-------------	------	-----

予想配点：各2点×6＝12点

問 8

基準操業度が実際の生産能力の場合、操業度差異は不働能力差異としての意味をもつ。一方、基

準操業度が平均操業度の場合、操業度差異は販売量を考慮した将来の数年間の予想平均生産量と

当期の景況にもとづく生産量との差としての意味をもつにすぎない。

予想配点：4点

第179回簿記能力検定試験

上級 原価計算 解答速報

問題1

問1

A 原価	800
B 原価	400

予想配点：5点×2=10点

問2

製品1000あたり標準原価	135,800円
当月完成品標準原価	4,481,400円

予想配点：5点×2=10点

問3 A原料費差異

価格差異	△26,400円		
配合差異	24,000円	歩留差異	△24,000円

予想配点：15点

加工費差異

変動加工費 予算差異	2,320円	固定加工費 予算差異	△1,000円
能率差異	△3,520円	操業度差異	△33,000円

予想配点：20点

問4

△400円	計算過程 $3,300 \div 100 \times 5 - (2,640 + 1,350) \div 120 \times 5 = \Delta 1.25$ $320 \times \Delta 1.25 = \Delta 400$
-------	--

予想配点：5点

問5

139,140円	計算過程 $1,200 \times 100 \times 1.14 \times 2 \div 3 + 680 \times 100 \times 1.14 \times 1 \div 3 + 2,520 \times 5 + 500 \times 19$ $= 139,140$
----------	---

予想配点：5点

問6 適切な案を○で囲み、カッコ内に金額を補充すること。

(現状案) A原料を自社製造する案) のほうが、製品1000あたり [1,760] 円有利である。

予想配点：5点

問題2

問1

	正誤	理 由
1	×	短期的な利益ではなく、中長期的な利益である。
2	×	価値＝生産量／原価ではなく、価値＝機能／原価である。
3	○	
4	×	原価改善活動ではなく、原価維持活動である。

予想配点：5点×4＝20点

問2

①	★18,400円
②	★20,600円
③	☆2,200円

予想配点：★4点×2＝8点

☆2点×1＝2点

ネットスクール WEB 講座のご案内

第 179 回全経簿記能力検定上級の受験、お疲れ様でした。

ネットスクールの WEB 講座では、今回の試験を受けてこの後の進路・学習についてアドバイスを行う各種“**無料説明会**”を開催いたします。

WEB 講座と同じシステムを使い、インターネットを通じて Live 配信を行います。Live 配信では、アンケートやチャットを通じて講師とのコミュニケーションをとることもできますので、気になることがあれば、ぜひご参加頂き、講師にご相談下さい。

イベント名	日時	内容
全経簿記上級受験者のための 日商簿記1級&税理士 WEB 講座 無料説明会	7月14日(火) 20:00~ (Live 配信)	第 179 回全経簿記上級試験に向けて学習した成果を活かして、11月の日商簿記1級や来年度の税理士試験に挑戦するための効率的な学習プランをお届けします。(担当:中村雄行)

※日程は予告無く変更する場合がございます。詳しくは、ネットスクールホームページにてご確認ください。

※Live 配信を行った無料説明会は、翌日以降オンデマンド配信も行います。

WEB 講座 Live 講義画面はこんなにすごい!

1 講師画面
講師が直接講義を行います。臨場感あふれる画面です。

2 チャット画面
講師へのメッセージはいつでもどうぞ!
「質問」はもちろん「今のところもう一度説明して!」など、受講生からのお願いも OK です。

3 ホワイトボード画面
板書画面です。あらかじめ準備された「まとめ画面」や「資料画面」に講師が書き込んだりします。もちろんプリントアウトも出来ます。

4 アンケートボタン
講師から「今のところわかりましたか?」などの確認をしたり、「皆さんに聞きますね」などの問いかけに使います。

学びやすさがスゴイ!!
だから続けられる、合格できる

ライブ講義では、チャットで質問OK

見逃しても大丈夫! オンデマンド配信

電話・メール・SNSで質問・相談受付

オンデマンド講義は 1.5 倍速再生対応

スマホ・タブレットでも受講できる!

詳しくは、ネットスクールホームページをご覧ください。

【URL】 <http://www.net-school.co.jp/>

【お問い合わせ】 0120-979-919(平日 10:00~18:00)

【税理士簿財コースの特典】
平成 28 年度向け税理士 WEB 講座の簿記論・財務諸表論標準コースに申込みと、日商簿記1級の簿記・会計基本講義にも無料で参加できます('15年11月まで)。